

海洋科学高校生、横須賀システム通信隊を初見学

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 阿部勤3海佐）は、9月29日（月）、神奈川県立海洋科学高校の生徒32名及び教員4名に対し、横須賀地方総監部に所在する横須賀システム通信隊での研修を支援した。

同校は、県内で唯一の水産・海洋分野のスペシャリストを育成する学校であり、校訓は「海を知り、海を守り、海を拓く」である。今回の見学には、無線技術科2年生及び専攻科の生徒が参加した。通信技術を専門的に学ぶ生徒に向け、横須賀システム通信隊は海上自衛隊における通信の役割や仕組みについて、分かりやすく丁寧に説明と展示を行った。

見学は2組に分かれて実施され、艦艇通信、災害時における通信体制、通信員の養成制度などの説明を受けた後、隊舎及び屋上に設置された通信設備を見学した。

生徒からは「通信速度はどのくらいか」「ネットワークの構築にはどの程度時間がかかるか」といった専門的な質問のほか、「取得できる資格を知りたい」「とても楽しかったので次は潜水艦を見学したい」といった感想も寄せられた。

横須賀地域事務所は、「今後も部隊との連携を強化し、若者の進路支援及び自衛隊への理解促進に向けた広報活動を積極的に推進していく」としている。



装備品展示



説明

地域の賑わいに貢献～『渋祭』に初参加

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3海佐）は、10月5日（日）に大和市の高座渋谷駅周辺で実施された『渋祭』に初めて参加し、広報活動を行った。

『渋祭』は、地域のにぎわい創出を目的として昨年からはじまった催しで、今年で2回目の開催となる。厚木募集案内所は、陸上自衛隊第4施設群の支援を受け、1/2メートルラックや偵察用オートバイの展示、広報官による制度説明などを実施し、来場者に自衛隊の活動を紹介した。

当日は夏を思わせる暑さの中、会場は多くの来場者でにぎわい、厚木募集案内所のブースにも長い列ができ、展示車両に試乗して「カッコいい！」「こっち向いて！」といった声が上がったり、「このスイッチは？」、「一般の車と違うところは？」などの質問も数多く寄せられた。また、広報官が子どもたちに配布した「キラキラシール」も好評を博し、手にした子どもたちは「キラキラだ！」「ありがとー！」と目を輝かせて喜んでいました。

イベント終了時には、周囲の方々から「来年も来てね！」「頑張ってる！」「今日はありがとー！」といった温かい言葉をいただき、地域との交流を深める貴重な機会となった。厚木募集案内所は、「今後も地域行事を通じて広報活動を推進し、防衛基盤の拡充と自衛隊への理解促進に努めていく」としている。



長蛇の列



賑わうブース



はじける笑顔